

### 訂正履歴

- 2020.3.24 : 第 I 部 第 5 章 (theory15.pdf) p.60, 61  
式 (5.10):  $-\Omega^0 \rightarrow -\Omega$   
式 (5.11):  $-\Omega \rightarrow -\Omega^0$   
式 (5.14):  $\tilde{\Omega}_t^0 = \Omega_t^0 \rightarrow \tilde{\tilde{\Omega}}_t^0 = \gamma(\Omega_t + \frac{v}{c}\tilde{\Omega}_x) = \Omega_t^0$   
式 (5.15):  $\tilde{\Omega}_t = \Omega_t \rightarrow \tilde{\tilde{\Omega}}_t = \gamma(\Omega_t^0 - \frac{v}{c}\tilde{\Omega}_x^0) = \Omega_t$
- 2020.2.28 : 第 I 部 第 1 章~第 5 章と付録のオリジナル 公開
- 2021.4.24 : 第 II 部 第 3 章 公開
- 2021.4.30 : 第 I 部 第 4 章 (theory14.pdf) p.60, 61, 62, 63  
式中のチルダ付き記号  $\tilde{\Omega}, \tilde{\Omega}^0, \tilde{\eta}$  等をバー付き記号  $\bar{\Omega}, \bar{\Omega}^0, \bar{\eta}$  等にかき換え。  
式 (5.28), (5.29) 書き換え。  
式 (5.35), (5.36) を追加。一部書き換え。
- 2021.5.16 : 第 II 部 第 3 章 3.4 節 シュレーディンガー方程式の解釈を  
3.4 節 波動関数の波数ベクトルの解釈  
3.5 節 熱的揺らぎによって回転放射の場が 3 次元連続関数になる  
に分割。
- 2022.8.30 : 第 II 部 第 2 章 2.4 節 粒子が持つ素過程の数  $k_s = 1, 2$  を導入。  
2.9 節全面的にかき換え。
- 2022.9.2 : 第 II 部 第 3 章 参照式番号  
第 2 章の一部追加変更に伴う式番号の変更に伴って第 3 章で引用している  
式番号の修正
- 2023.3.15 : 第 II 部 第 2 章 2.9 節 「中性粒子のスピン及び磁気モーメント」をかき換え。
- 2023.3.29 : 第 II 部 第 4 章 公開
- 2023.4.2 : 第 II 部 付録 公開。第 II 部 第 4 章 4.7 節を追加。
- 2023.5.14 : 第 II 部 第 4 章  
4.8 節 「重力場と近接作用媒体」を追加。  
4.9 節 「重力場と SP-ラインの場」を追加。  
4.10 節 「等価原理の新しい解釈」を追加。  
付録 A.4 を追加。
- 2023.7.13 : 第 I 部 第 5 章  
ベクトル記号の  $\bar{\Omega}$  を  $\hat{\Omega}$  に変更。